

早いものでレポートも 4月号である。UAM (メトロポリタン自治大学) は5月11日からオンライン授業を再開することになった。調子に乗って3科目も登録してしまったので、近い将来、地獄を見ることになるのはわかり切っているのだが、問題はオンライン授業に関する連絡が授業開始前日になっても届かないことである。

まず先月レポートの間違いを訂正したい。La Comer でしか売っていないものの一つとして「生クリーム」を上げたが、Sumesa にもあった。陳列場所はアイスクリームや冷凍食品が置かれているゾーンの一角。先月の時点で気づけず、間違った情報を掲載してしまい申し訳ない。

さて、今回も先月に引き続きお金の話になるが、家賃について綴りたい。先月のレポートと合わせて、メキシコでの生活費を推測するための目安にしてもらえれば、と思う。

まず、筆者が現在借りている家の話をしたい。残ながら来年から部屋は貸し出さないとのこと、あまり当てにならない情報となってしまう申し訳ないのだが「こういう家があるのか」ぐらいに思って聞いてほしい。

CEPE (メキシコ国立自治大学附属語学学校) までバスで30分、コヨアカン駅まで徒歩20分のところにあるこの家は、コヨアカンの中心地に近く、小道に面した玄関の扉をくぐると、敷地内に2軒の家があり、手前の家を大家さんが、留学生は奥の家を借りている。

家賃は月4000ペソで、デポジットはない。支払いは現金で月ごと手渡し。支払いの日は入居日で、24日に入居したなら毎月24日、1

日に入居したなら毎月1日が支払いの日である。家賃に含まれているのは、水道・光熱費とWiFi、お手伝いさん代である。飲料水は20Lのボトルを切れるたびに頼んでくれるのだが、それは別途で1ボトルにつき40ペソ払っている。(二人で住んでいた頃は一人20ペソ払っていた。)

個室はかなり広く、収納スペースも多い。バスルームと冷蔵庫もそれぞれ個別で、部屋にはベッドと勉強机・椅子、卓上ライトの家具が備えられている。コンセントの位置と数は部屋選びの際に意識した。共用スペースはキッチンとリビング、屋上だが、大家さんとは住んでいる家が違うため、他のルームメイトたちとのシェアである。食器や鍋、電子レンジなどの調理器具もしっかり揃っており、また、一泊150ペソで泊まれるゲストルームがあったのも、この家を選んだポイントだ。



家に入ってすぐのリビングスペース



キッチンスペース。冷蔵庫は別の場所にもう一台ある。

インスタほぼ毎日投稿。メキシコの風景UPしています。

Instagram @mio.mexico

note はじめました@mio.mexico

まだ私が CEPE に通っていた最初の頃、平日は毎日登校中に大家さんがベッドメイキングをしてくれていたのだが、いつの間にか月曜日だけになっていた。しかし、日曜日を除き毎日ゴミは大家さんが回収してくれるし、毎週月曜日はお手伝いさんが入っていろいろな場所を掃除してくれるし、ベッドのシーツも変えてくれる。

洗濯機は使えるが大家さんの私物であるため、毎回許可が必要で、汗を掻かない気候も相まって、月に2回使うかどうかである。洗剤と柔軟剤は自分持ち。



広い屋上では洗濯物干し放題。強い日差しで砂で乾く。
お家によってはアパートなど干すスペースがあまりないところも少なくない。

この家を借りるにあたって、ルールがいくつかあった。まずは「女性限定」で男性は訪問も不可、飲酒・喫煙禁止、フィエスタ（祭り）禁止、食器は家から持ち出さない、友人を招く際は21時で解散すること、帰りが遅くなる時は連絡を入れること、ざっとこんな感じだろうか。フィエスタ禁止とは言われたが、友人を招くことは禁止されておらず、和食会はそれなりに開催したし、何も言われなかった。飲酒はダメよ、とはよく言われたが（筆者は飲めないのであまり関係ないなあ、と）。

とは言っても、そこまで生活に介入してくる大家さんでもなく、もともと学校の先生であったこともあり、わからない単語は別の言葉で説明してくれたり、適度にコミュニケーションをとってくれたり、こちらから聞いたことにはしっかり答えてくれる、とても良い大家さんである。

立地や家賃、設備や大家さん全部含めて、この家を選んでよかったな、と思う。

他の日墨生の話をすると、いろいろな事情で引越しを決める人も少なくなかった。家賃が高い、CEPE から遠い、大家さんやルームメイトと反りが合わない、などなど。引っ越していろいろな家を見るのも、いいな、とも思う。1年間という期間を利用して、ホームステイをしたり、ルームシェアをしたり、無理にでも生活環境を変えていくことも一つの選択肢だろう。

日墨研修生としてメキシコに行く場合、その多くはメキシコでの滞在先を決めずに出国するだろう。私がそうだったのだが、住む場所が決まらないままメキシコに行くことは非常に不安要素であった。不安に感じる一方で、大家さんやお家との相性があるだろうから、実際に自分の目で見てから決めたいという思いも強かった。

メキシコ到着後、ボランティアの人の助けを借り、かなり粘っている色々な家を見に行ったが、周りがどんどん家を決める中、焦りはとてもあった。しかし、最後までじっくり考えてよかった、と今は思う。

正式に日墨研修生としてメキシコに行くことが決まった暁には、前期生が制作した住宅情報誌が外務省から配布されることになっている。48期生のための冊子も編集担当が日々、

鋭意作成してくれているので、頭が上がらない。

そういえば、何回か「note 見てます」「レポート読んでます」と声をかけてもらうことがあった。この場を借りて、お礼申し上げたい。非常に嬉しく、note や Instagram を更新する活力になっている。最近は更新不精で申し訳ない。残された時間もわずかになってきたが、自分なりに様々な方面で頑張りたい。

以下個室紹介である。住宅情報誌に提供した写真と同一。



埼玉で 5.5 畳の 1R 生活を送っていた自分にとっては、今の部屋は広すぎて持て余すほど。

ベッドはシングルベッドで少し小さめだが、太陽光が入ってきやすい明るい部屋である点が気に入っている。

壁のコルクボードも非常に便利。卓上ライトに加え、枕元にもライトがあるのはありがたい。



個別バスルーム。

お湯がしっかり出ないお家も中にはあるため、潤沢にお湯が使えるかは家選びの基準の一つ。

湯船がある家は本当に珍しいだろう。この家もシャワーしかない。

トイレは紙を流せないなので、ゴミ箱に捨てるが、毎日大家さんがゴミを回収してくれるので衛生的。

インスタほぼ毎日投稿。メキシコの風景 UP しています。

Instagram @mio.mexico

note はじめました@mio.mexico